

令和3年度（2021年度）第1回越谷市総合教育会議

日 時 令和3年（2021年）12月21日（火）

13:30～15:00

会 場 越谷市役所本庁舎4階 庁議室

次 第

1 開 会

2 市長あいさつ

3 協議事項

（1）令和4年度教育行政における重点的な取組みについて

4 閉 会

出 席 者

市 長 福 田 晃

教 育 長 吉 田 茂

教育長職務代理者 野 口 久 男

委 員 堀 川 智 子

委 員 荒 木 明 子

委 員 渡 辺 律 子

委 員 山 口 文 平

欠 席 者 な し

会議に出席した関係職員の職氏名

【教育総務部】

教育総務部長	鈴木	功
副部長（兼）教育総務課長	渡辺	真浩
副参事（兼）スポーツ振興課長	八木下	太
副参事（兼）図書館長	横山	みどり
生涯学習課長	木村	和明
生涯学習課調整幹（兼）科学技術体験センター所長	前田	清彦

【学校教育部】

学校教育部長	岡本	順
副参事（兼）学校管理課長	紺野	功
副参事（兼）指導課長	小野寺	秀明
副参事（兼）給食課長	石川	智啓
副参事（兼）教育センター所長	齋藤	紀義
学務課長	青木	元秀

【事務局】

総合政策部長	徳沢	勝久
総合政策部副部長（兼）政策課長	山元	雄二
総合政策部政策課主査	黒澤	素直

○司会 それでは、定刻となりましたので、令和3年度第1回越谷市総合教育会議を始めさせていただきます。

私は、本日の進行を務めます総合政策部長の徳沢と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、福田晃市長就任後初めての総合教育会議でございますので、会議に先立ちまして、越谷市教育委員の皆様をご紹介させていただきます。

教育長職務代理者の野口久男委員でございます。

○野口委員 よろしくお願ひします。

○司会 堀川智子委員でございます。

○堀川委員 よろしくお願ひいたします。

○司会 荒木明子委員でございます。

○荒木委員 よろしくお願ひいたします。

○司会 渡辺律子委員でございます。

○渡辺委員 よろしくお願ひいたします。

○司会 山口文平委員でございます。

○山口委員 よろしくお願ひします。

○司会 どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、本日の資料確認をさせていただきます。まず、次第、続きまして、総合教育会議の名簿、資料1「令和4年度教育行政重点事業一覧表（予算要求段階）新規・拡充事業抜粋版」、資料2「教育行政重点事業一覧表」でございます。

資料の不足等はありませんでしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

○司会 ありがとうございます。

それでは、開会に当たりまして、福田市長からご挨拶を申し上げます。

○福田市長 皆さん、こんにちは。本日は、大変お忙しい中、令和3年度第1回越谷市総合教育会議にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

私は、市長就任に当たり、所信表明において政策の3本柱の一つに子供が輝く社会の実現を掲げておりますが、未来を担う子供たちが夢や希望を持ち、健やかで心豊かに成長することは、社会にとってかけがえのないことであると考えております。

本日の会議では、令和4年度教育行政における重点的な取組についてご協議をいただきますが、子供が輝く社会の実現に向けて、これからも教育委員の皆様と連携を図りながら、多様な個性を持つ子供たちに寄り添い、それぞれの個性を伸ばすことができるよ

う、教育行政の推進に努めてまいりたいと思っております。今後とも皆様の一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

○司会 続きまして、傍聴について確認をさせていただきます。

本日の総合教育会議につきましては、非公開とすべき事項はございませんので、公開とし、傍聴につきましても可能といたしたいと思っておりますが、皆さん、よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

○司会 ありがとうございます。

それでは、本日の会議は公開とし、傍聴を可能といたします。

本日、傍聴を希望される方はいらっしゃいますか。

○事務局 いらっしゃいません。

○司会 いらっしゃらないということでございます。この後、傍聴を希望される方がいらっしゃいましたら、適宜誘導をさせていただきます。

それでは、早速でございますが、次第の3協議事項に移らせていただきます。

本日の協議事項は1件、「令和4年度教育行政における重点的な取組みについて」でございます。資料に基づきまして、基本目標ごとに教育委員会事務局から説明をいただき、その後皆様のご協議をお願いいたします。

初めに、「基本目標1 生きる力を育む学校教育を推進する」につきまして、学校教育部から説明をお願いいたします。

○岡本部長 それでは、教育振興基本計画における3つの基本目標ごとに、令和4年度に重点的に取り組みたいと考えおります内容についてご説明を申し上げます。

お手元に、A3版の資料1、それから、A4版の資料2の2種類をお配りしております。資料1は、重点事業のうち、主に新規及び拡充事業について基本目標ごとにまとめたものでございます。資料2は、重点事業の内容について、詳細に記載したものとなります。なお、拡充事業の考え方でございますが、予算に関わらず、内容の見直し等に伴い、新たな取組に着手する事業や体制の強化を図る事業、また、新たな機能の追加を伴う施設整備等と整理をしております。本日は、資料1を中心にご説明をいたします。

それでは、「基本目標1 生きる力を育む学校教育を推進する」についてでございます。こちらは、学校教育の分野における取組となっております。まず「施策の方向1 9年間を見通した越谷教育を推進する」の項目でございますが、「① 小中一貫型小中学校候補の検討・整備」では、児童生徒の快適な学習環境を整え、小中学校9年間にわたる

学びと育ちの連続性を重視した教育を展開するため、民間活力を導入し、小中一貫校の整備に向けて各種手続を進めてまいります。

次に、「施策の方向2 確かな学力を育む」でございます。「② 一人ひとりの学力を伸ばす教育の推進」の「個を生かし伸ばす指導の充実」では、自学自習システムやAIドリルの活用促進など、子供の多様なニーズに応じた取組への支援に努めてまいります。

「③ 新しい時代に求められる資質・能力の育成」の「ICTを活用した教育の充実」では、児童生徒1人1台の学習者用端末の有効活用に向けた教材整備やICT活用事例ハンドブックを活用した教職員研修の実施など、児童生徒の情報活用能力の向上に努めてまいります。また、「英語教育の推進」では、小中学校語学指導助手、いわゆるALTの適正な人数確保や英語検定受験者への検定料の助成など、小中学校外国語科の充実のための環境整備に努めるほか、次の項目、「読書活動の推進」では、学校司書の増員や効果的な配置など、学校司書の効果的な活用に努めてまいります。

次に、「施策の方向3 豊かな心を育む」でございます。「④ 教育相談体制の充実といじめ防止対策の推進」のうち「教育相談体制の充実」では、組織的な教育相談体制づくりの支援やSNSを活用した相談活動の実施など、原因や内容が複雑化し、長期化する教育相談への適切な対応に努めてまいります。

次に、「施策の方向4 健やかな体を育む」でございます。「⑤ 健康教育の充実」のうち「学校保健の充実」では、学校における児童生徒健康診断実施体制の整備や感染症対策の実施、視力低下について眼科医等や体力向上推進委員会と連携した講演会の実施など、適切な保健管理の実施と研修会の開催に努めてまいります。

次に、資料の右側をご覧ください。「施策の方向5 自立する力を育む」の項目でございます。「⑥ 主体的に社会の形成に参画する力の育成」のうち「環境教育の推進」では、小学校社会科副読本「わたしたちの越谷」及び環境教育資料「しらこぼと」、これらをデジタル化するとともに、学校ビオトープを活用した実践活動の研修会を実施するなど、環境教育主任を中心とした研修会の実施に努めてまいります。「⑦ 障がいのある子どもへの支援と指導の充実」のうち「特別支援教育のための環境整備」では、特別支援教育支援員の増員及び効果的な配置を行うなど、児童生徒の豊かな学校生活と円滑な学校運営のための支援に努めるほか、個別的な教育ニーズのある児童生徒に応じた学びの場として、特別支援学級及び通級指導教室の計画的な設置運営に努めてまいります。「⑧ 一人ひとりの状況に応じた教育支援」のうち「日本語を母語としない児童生徒への支援」では、日本語指導員の派遣や児童生徒への日本語指導体制の検討、構築など、児童生徒の豊かな学校生活のための日本語学習支援に努めてまいります。

次に、「施策の方向6 質の高い教育環境を整備する」でございます。「⑨ 教職員の資質・能力の向上」のうち「教職員の健康の維持と管理」では、教職員健康診断の実施や、メンタルヘルス対策としてストレスチェックを年2回実施するなど、教職員の心身の健康確保に努めてまいります。「⑩ 学校の組織運営の改善」のうち「働き方改革の推進」では、出退勤管理システムを用いた教職員の勤務時間の客観的な把握や、民間事業者の知見を活用した実効的な解決策の検討など、教職員の働き方改革の推進に係る取組の実施に努めてまいります。また、「地域人材を生かした活動の推進」では、地域人材や退職教員ボランティア等による放課後オンライン学習の支援体制の整備及び部活動外部指導者や部活動指導員による部活動支援体制の整備など、学校応援団の運営と学習及び部活動支援体制の整備に努めてまいります。「⑪ 安全・安心で快適な学習環境の整備・充実」のうち「安全な学校施設の整備と充実」では、児童数増加に伴う教室不足に対応するため、川柳小学校の仮設校舎の増築などに取り組んでまいります。また、「快適な学校環境の整備と充実」では、環境、そして省エネルギー対策として、学校施設の照明器具をLED化するほか、学習者用端末をはじめとするICT機器及びネットワーク環境を整備するなど、ICTを活用した学習環境の整備に努めてまいります。

基本目標1についての説明は以上でございます。

○司会 ありがとうございます。

ただいまご説明がございました基本目標1につきまして、皆様にご協議をいただきたいと存じます。まず、福田市長、いかがですか。

○福田市長 それでは、何点か、意見を述べさせていただきます。

「① 小中一貫型小中学校候補の検討・整備」については、先日の議会で債務負担行為の議案が通り、これから整備が進むわけですけれども、課題も多いと思います。課題は、徹底的に改善をし、その上で、せっかくこの小中一貫校を越谷流でやろうという話なので、生徒の皆さんが「一貫校に入ってよかった。」と思ってもらえるような一貫校にしていきたいと考えています。さらには、他の自治体が「越谷はすばらしい教育しているね。」「子供たち、こんなに喜んでいるね。」と言われるようなものにしていきたいと思っていますので、色々な声があるというのは私も重々承知していますが、そういった意見を前向きに捉えて一緒に頑張っていきたいと思っています。

「③ 新しい時代に求められる資質・能力の育成」に関しましては、ICTの活用という意味では、せっかく学習者用端末が1人1台あるので、徹底的に使ってもらいたいと思います。今、持ち帰りは基本的にしていないと思いますが、毎日持って帰ることが難しければ、例えば金曜日に持ち帰り、土、日に使い、月曜日に学校へ持ってきてもら

うという事ができれば良いと思います。また、デジタル教科書等のコンテンツについても、子供たちが自分で学習する意欲を駆り立てられる、そういう意識が持てるようなものを取り入れてほしいと思っています。

「④ 教育相談体制の充実といじめ防止対策の推進」に関しては、私にも何件か相談が来ていますけれども、簡単に解決するようなことではなく、かなり複雑だと思います。これは丁寧に粘り強く、物事を決めつけずに、お互いの話を聞きながら解決をしていていただきたいと思っています。特に、誰か自分の味方になってくれる人がいるという、寄り添う姿勢が重要だと思いますので、ぜひ先生にそういう役割を期待したいです。

「⑦ 障がいのある子どもへの支援と指導の充実」に関しては、現状、おそらく特別支援学級へ行くと、1年間は通うことになると思うのですが、例えば、3か月ぐらい通ってみて、違うなと思ったら普通学級に戻してみることが考えられると、教育の幅が広がると思います。

「⑨ 教職員の資質・能力の向上」に関しては、先生になりたい人が最近減っている状況があり、試験の倍率も低くなっているという話も聞くので、越谷市だけで解決できる問題ではないですが、教職員が働きやすい環境を考えてほしいです。ITばかりにこだわるわけではないですが、作業を減らせるのであれば、そういった道具を使いつつ、効率化に努めていただきたいと思っています。⑧の日本語学習支援等でも、色々なシステムが開発されているので、効率化につながると思うのです。今、教職員に負荷がかかっている部分は、先進事例もあると思いますので、情報収集をしながら何か工夫できないのかということ、常に考えていただきたいと思っています。就任のときの訓示で、常に考えていただきたいということと、常識を疑ってほしいという話をしています。先生の働き方も、例えば隣の先生と2人そろって同じような教材を作っている、それはもったいないので、作業が共有できるようなものがあれば、ぜひ進めていただきたい。先生達のふだんの労力を減らして、子供たちと向き合う時間を長くするという事は、常に考えていただきたいと思っています。

○司会 では、委員の皆さんからも意見をいただければと思います。よろしく願いいたします。

○野口委員 私のほうからよろしいですか。

市長のお話、ありがとうございます。特に最初の小中一貫校について、入ってよかったと思える学校ということで、まさにそのとおりだなと思いました。教育委員会会議でもよくお話しするのですけれども、④について、特に教育相談体制の充実は、来年度以降もずっと重点で取り組んだほうがいいと思っています。先ほどお話のあった、例え

ば⑦の障がいのある子供への支援と指導の充実につきましても、教育相談体制がしっかりしていることで、充実していくのではないかと思います。

また、いじめのことでお話がございましたが、子供たちの実態を捉えて、適切に対応しなくてはならないと、私も強く思っています。

教育相談体制で私が懸念しているのは、不登校の生徒さんの数が非常に増えているということです。といいますのは、だんだんスマホが普及するなか、新型コロナの影響もあって、家でスマホを使う時間が非常に増えているお子さんがいて、なかなか学校に足が向かないということを聞きます。特に、最初はきっかけとしていじめ、あるいは人間関係の悩みから不登校に陥ったお子さんが、家でずっとスマホを使って過ごしていて、なかなか学校のほうに足が向かなくなるという例も散見されますので、教育相談体制の充実は重点的に取り組む必要があると考えております。

以前、子供たちの非行問題が話題になった時代もあったのですが、その頃はいわゆる反社会的な生徒さんが問題を起こしたという形が多かったのですが、近年の様子を見てみますと、どちらかというとな社会的な傾向が強いと思っています。なかなか社会と関わりを持たないお子さんが増えてきているので、そういったお子さんが不登校から非社会的になってしまうということを懸念しておりますので、教育相談体制の充実は、これからも重点的に取り組んだほうが良いと思っています。

さらに、教育相談体制が⑤の健康教育の充実にもつながっていくだろうと思っています。先ほどお話がありましたように、コロナの影響もあり、子供たちの健康状態もすごく心配だなと思っています。運動不足に陥っているでしょうし、外で元気に遊ぶという機会も減ってきていると思います。様々な課題がありますので、教育相談体制をきちんとつくって対応できればと思っています。

私からは以上です。

○司会 ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。堀川委員、いかがでしょうか。

○堀川委員 市長、ありがとうございます。

私としては、市長からのご意見も伺い、「② 一人ひとりの学力を伸ばす教育の推進」ということで、AIドリルや自学自習のシステムを使って一人一人が学習できつつ、子供たちのいいところを伸ばすような教育ができればと思いました。

それと、野口委員からもありましたけれども、コロナ禍で学校に行けないときに家庭学習をするのだけれども、家庭では分からないとか、ついていけないとか、学習困難という子供が増えてきて、勉強が分からないことで不登校といった子も増えていると聞き

ましたので、そういったことも含め、教育相談は今後も重要な面ではないかと思っております。子供たちに寄り添い、丁寧にケアしながら、子供たちが健やかに育ててほしいと思っております。

また、環境教育について、私なりに越谷市のホームページなどを見させていただいて、段階を追って分かりやすくできておりましたので、大変勉強になりました。昨年、科学技術センターで、「SDGsってなに？」という非常に立派な資料を作っており、それもすごく勉強になりましたし、多くの人に見ていただきたいなと思いました。それと、環境教育のホームページの中に「KIKYO」とありますが、そういった言葉も知らなかったもので、市民の皆さんに広く知っていただいて、学校、家庭、地域で環境について課題を持ちながら、意識を高くして頂きたいと感じております。

私からは以上です。

○司会 ありがとうございます。

続いて、荒木委員、いかがでしょうか。よろしくお願ひします。

○荒木委員 市長のお話、ありがとうございます。

やはり、変化のスピードの速い世の中ですので、子供たちが変化の激しい社会において、どのような状況であっても自ら考えて、学んで行動できるというような生きる力をしっかりと育むことが、ますます重要だと思っております。子供たちの学びも変わってきているわけですが、そういった観点からも、先ほどの市長のお話にもありましたように、個を生かし伸ばす指導の充実ということで、一人一人の習熟度に合わせた学びであるAIドリルの活用、堀川委員からもありましたけれど、私もそちらを進めていくことが必要であると思っております。

また、英語教育の推進につきましては、先日、小中一貫教育の研究発表会で中学生の英語の授業を見学した際に、生徒みんながグループになって英語で話し合っている最中に、語学指導助手（ALT）が教室中を回って一人一人をよく見て、必要であれば適切に声かけをして、生徒もよく反応しているという場面を見て、効果的であると感じました。これは一例ですが、これからもこのような効果的な英語教育を進めていくことが大切と思っております。やはり英語の重要性が高まっていますし、英検は入試でも有利になることがありますので、英検受検者への検定料助成を実施していただけたらと思っております。

そのほか様々な取組がございますので、子供一人一人に寄り添って常に考えて進めていけたらと思っております。

以上です。

○司会 ありがとうございます。

続きまして、渡辺委員、いかがでしょうか。お願いします。

○渡辺委員 市長の意見、ありがとうございます。

ただいま市長から、教員の成り手が少なくなっていることを危惧しているというお話があったのですが、確かに埼玉県、ほかの都道府県も皆そうなのですが、昨年、2.8倍だった小学校教員採用率の倍率が、今年は2.4倍でした。中学校においても減少傾向にあります。なぜこのような形になっているのかというのは、やはり、教員の労働環境がブラックであるというようなことが言われていて、この辺りが大きく影響していると思います。

これに関連して、⑨の中の「教職員の健康の維持と管理」と、⑩の中の「働き方改革の推進」がリンクしてきていると考えております。特に教育委員会としては、来年度より、メンタルヘルスチェックを1回から2回に増やすことで、なるべく早く教員のストレスに気づいて、教職員の健康管理をしていこうという施策はあるのですが、やはり、チェックをすればいいというよりも、それ以前にストレスをためないような働き方の手だてをしていかなければいけないと思います。先ほど、市長から、例えば、先生方同士でコミュニケーションを取って、教材作り等を共有していけないだろうかというお話がありましたが、まさしくそのとおりだと思います。

ですが、教育の現場を見てみますと、例えばICTの活用、タブレットが入ったのはとてもいいことなのですが、一方、それを使って教育をすると、教員はそのための研修など、覚えなければいけないことも増えます。教育委員会でもコンテンツを作るなど、手だてを色々としているのですが、負担は増えると思います。そして、外国語教育が始まりました。これからの社会を担う子供たちにとってはいいことなのですが、教える側としては、英語を勉強しなければいけないとか、そのコンテンツを作らなければいけないとか、どんどん負担が増えてきているという現状がございまして、そここのところで、スクラップ・アンド・ビルドではないのですが、どこかを排除していきたいという思いは、教員全員が持っていることなのですが、なかなかできないという現状もあります。もちろん、教育委員会でも何らかの手だてを打っていかなければいけないと思うのですが、どんどん教職員の負担が増えているということをご理解いただければと思います。

それで、働き方改革というところで言いますと、出退勤管理システムを導入していただいたのですが、学校にいる時間は管理できるけれども、では中身はどうなのだとしたら、中身は増える一方です。なので、その部分でも、教育委員会としては考えていか

なければいけないという現状がございます。

やはり、教員が元気でないと、この施策にもある「確かな学力を育む」とか、「豊かな心を育む」とか、「健やかな体を育む」ということはできないと思います。子供たちに対しての手だてと同様に、教職員にも同じぐらいの支援をしていかないといけないなど感じております。

以上でございます。

○司会 ありがとうございます。

山口委員、いかがでしょうか。よろしく申し上げます。

○山口委員 ③のICTについてお話ししたいのですが、先ほど市長がおっしゃった、タブレット等を有効に使うということは非常に大事なことだと思います。ただ、ICTを使うということは、ネットの荒海に投げ出されるという部分も当然あると思います。それに当たって、個人情報を守ることの大事さについての教育は重要だと思いますし、ネットは偏った意見がどうしてもあるので、一つの方向に凝り固まってしまうというおそれもあると思います。ですので、できればネットで得た情報をディスカッションする機会などをつくり、偏りのないネット情報を自分で見つけてきて、それを利用するという能力を育むということも同時に、やっていただきたいと思います。

○司会 ありがとうございます。

福田市長の意見、さらには5人の委員の皆様からそれぞれ大変示唆に富んだご意見をいただきました。

吉田教育長、いかがでしょうか。

○吉田教育長 まず、小中一貫教育については、これから3学園の中で、どのように進めていくのかという話になったときに、共通する児童生徒像や研修組織の設定をしなければいけないと思います。それから、9年間を見通した教育課程を立てなければいけない。さらには、学校運営協議会の合同開催、併任による職員の交流、コミュニケーション促進、こういうことをやっていかなければいけないと考えております。共通する児童生徒像については、小中一貫教育を始めた頃、9年間でこんな子供を育てたいのだと、一般の教職員が発表のときに言っており、これはいいことだと思って、既に、各ブロックとも共通する児童生徒像あるいは研修組織の設定について取り組んでいるところです。それから、9年間を見通した教育課程についても、単元配列表というものができていますので、それに基づいて、編成をしております。それから、学校運営協議会の合同開催については、既に学校運営協議会を各学校に設置していますので、これも準備を進めているところです。一番の肝は、併任による職員の交流とコミュニケーションの

促進だと考えています。要するに、どういう学校を作っていくのか、お互いに言い合いながら組織をうまく作り、その中で話し合いをしながら、育成していくという、ここが一番大事なところですが、どれだけできるかという、今は学校が少し離れていますので、夏休みに集中しておこなっているという状況です。ただし、今後、施設一体型、あるいは近接型ということになると、それぞれの学校の特色を生かして、より密接なコミュニケーションを図る、あるいは日常的に、組織的に取り組むことが可能になります。施設設備も当然関わってくるのですけれども、おかげさまで今のところは順調に進んでいて、非常にいい方向に進んでいると考えておりますので、魅力ある学校づくりができていくかなと思います。

そのような取組みの中で、採用への応募数も増えてくるかなと思うのですが、採用は県の仕事ですから、我々としては、そういう魅力ある学校、行きたくなる学校、勤めたくなる学校、通いたくなる学校、あるいは学ばせたい学校、そういう学校をまずは作っていくことが大事だと思っています。この3学園については、それぞれが施設一体型と分離型、あるいは併設型といったような特色を持っていますので、そういった特色を生かして、そこで上げた成果を各学校に配信できればよいと考えているところです。

特別支援学級については、柔軟性を持たせて取り組んでほしいとのお話があったのですが、特別支援学級に入ったら特別支援学級で完結してしまうということではなく、技能教科等では共同学習、同じ学校内で交流をおこなっています。基本的には、受け入れる側と障がいのある子供、共に成長するという教育を進めてきており、各学校ではそういう考え方に基づいて共同学習を進めています。また、特別支援学級については、市内全小中学校に特別支援学級を作ろうという方向で動いておりますので、年間3校ぐらい設置校を増やしているところです。

それから、ICTの活用については、1人1台のタブレット導入によって、当初、1日1回ICTを活用するという目標を立てたのですが、既にこれはクリアに近い状態にあります。タブレット端末の持ち帰りによる利用促進は、導入当初はセキュリティや破損の危険性から、消極的なところもございました。私としても、便利な文房具の一つといった捉え方からすれば、いろんな規制をすることよりも、持ち帰りを積極的に進めるという観点で取組を指示してきた経緯があります。しかしながら、休業中の持ち帰りを実施した結果、課題が見えてきたことも事実です。通常の授業実施日における持ち帰りについては、600人から700人に上るWi-Fi環境の整っていない世帯の対応が十分でない等の課題もあり、こうした課題の解決に今取り組んでいます。現状では、オンライン授業を全児童に向けて実施するという事は、まだ難しい状況にあると思います。い

ずれにしても、積極的に活用を図っていきたいと考えております。

いじめへの対応は、野口委員からもありましたが、いきいきアンケートというのを、全学年統一して行っております。一人一人の子供たちが今どういう状態で、どういう不安を抱えて、どんな訴えをしているかについて、注意深く見守っていく必要があると思います。いじめの認知件数というのは、いじめが何件あったかということではなく、いじめに気づいた件数がどれだけあったか、気づいてあげられた件数がどれだけあったかということで認識してもらいたいということで、お話をしてきたところですので、そういった方向に今進んでいると考えています。

それから、資質向上については、まさに渡辺委員にご指摘いただいたとおりで、これは非常に私どもも苦慮しているところです。昔に比べ、先生に対する尊敬の念が低くなったと言われており、そのように言われている中であって、さらに、いわゆるブラック企業、ブラックスクールのような言葉も出てきている。解決策の一つは、教員の給料を上げることかなと私は思っています。教職員は県費負担なので、どうにもならない部分もあるわけですが、教育委員会としては、せめて健康管理のチェックを進めていく、そういう体制をきちんと整えていくのと同時に、働き方改革も進め、さらには魅力ある学校づくりを進めていくことかなと考えているところです。

○司会 教育長、ありがとうございます。

それでは、基本目標1につきましては以上とさせていただきます。続いて、資料1の裏面になります。「基本目標2 生涯にわたる学びを充実し、地域文化を振興する」につきまして、教育総務部から説明をお願いいたします。

○鈴木部長 それでは、説明させていただきます。

「基本目標2 生涯にわたる学びを充実し、地域文化を振興する」についてでございますが、こちらは生涯学習の分野における取組となります。

まず、「施策の方向1 生涯にわたる学びを進める」でございます。「① 生涯学習活動の充実と学習成果の活用」の「科学技術体験センター事業の充実」では、科学館の特性を生かした企画展の実施や、企業と連携した小学校低学年対象の最先端のプログラミング講座を実施するなど、ライフステージに応じた科学体験事業の実施に努めてまいります。また、プロジェクションマッピングを活用した非接触型体験装置を導入し、施設環境の整備と充実にも努めてまいります。「② 図書館サービスの充実」の「図書館機能の充実」では、電子書籍やオーディオブックの拡充など、システムの活用による利便性の向上に努めるとともに、移動図書館に係るサービスポイントの整備や、障がいのある方の読書活動を推進する資料の整備など、読書活動の環境整備に努めるほか、可動式授乳

室の設置やトイレの洋式化を行うなど、居心地のよい空間の提供に努めてまいります。また、「子ども読書活動の推進」では、親子で参加できるワークショップや夏休みの宿題応援講座の開催など、家庭、地域、学校等における読書活動の促進に努めるとともに、中学生による「おすすめ本紹介」の実施や「こどもカレンダー」の充実など、子供が読書に親しむ機会の提供に努めてまいります。

次に、「施策の方向2 文化活動を充実し、郷土の歴史を継承する」でございます。「③ 芸術文化活動の推進」の「芸術文化に接する機会の充実」では、市民参画による越谷市民文化祭等の芸術文化事業や特別企画展覧会の開催など、芸術文化を身近な場所で鑑賞する機会の提供に努めてまいります。「④ 文化財の保存と活用」の「文化財調査活動の推進」では、諸家文書の所在確認及び内容調査を実施するなど、文化財基礎調査の実施に努めるとともに、「文化財の保存と活用の推進」では、大間野町旧中村家住宅及び旧東方村中村家住宅の多言語化の促進や、大間野町旧中村家住宅の解説図録の作成など、文化財関係施設の利活用に努めてまいります。また、市が所有する歴史資料等の知的資産をデジタル化し、インターネット上で公開するためのデジタルアーカイブの整備に努めるほか、民間事業者の知見を活用し、本市における郷土資料館の在り方についての検討を進めてまいります。

基本目標2については以上でございます。

○司会 ありがとうございます。

ただいま説明のございました基本目標2につきまして、ご協議をいただきたいと存じます。

まず、福田市長、いかがでしょうか。

○福田市長 まず、「① 生涯学習活動の充実と学習成果の活用」のミラクルについて、以前、新聞にも載っていましたが、プログラミングやSDGsに関連する講座等、私も見に行きましたが、良いことをやっているの、積極的に使ってほしいと思っています。ミラクル、コスモス、ヒマワリと、3つの施設があるというのは、他の自治体に比べ、かなり充実していると思っています。建設から時間がたっている施設のため、コンテンツがなかなか更新できないという事も聞いていますが、せっかく子供たちが使う施設なので、ミラクルだけに限らず、3つのセンターをうまく活用したいと考えています。

「② 図書館サービスの充実」については、インフラを整えて、子供たちがしっかり読書できる環境を充実させてほしいと思います。

「③ 芸術文化活動の推進」については、コロナでこういう機会がすごく減っていますが、市民活動が充実できるような部分に力を注いでいきたいと、私自身も思

っています。

○司会 ありがとうございます。

委員の皆様からご意見等はいかがでしょうか。山口委員、いかがでしょうか。

○山口委員 ①、②、③については、市長のおっしゃるとおりだと思います。

④の郷土資料館については、越谷市が中核市であるということを考えると、あってしかるべきなのかなと思います。引き続き、前向きに検討していただきたいと思います。デジタルアーカイブの整備も、郷土資料館と一体の部分があると思うので、デジタルアーカイブの充実と郷土資料館の整備は、一体として進めていただけたらと思います。越谷市に住んでいるということについて、子供たち、さらには我々が愛着を持っていくためにも、私たちの祖先が何をしてきたか知ることは大事なことですし、同時に、学問の世界で、例えば越谷市には日光街道がありますが、日光街道全般を調べるときに、越谷市のデジタルアーカイブが充実していることによって、研究者たちも情報にアクセスしやすくなる点もあると思います。少し地味な分野に見えるかもしれませんが、私たちが越谷に生きていることに対して充実感を持つということは、非常に大事な点だと思いますので、前向きに検討いただきたいと思います。

○司会 ありがとうございます。

荒木委員、いかがでしょうか。

○荒木委員 基本目標2は、「生涯にわたる学びを充実し、地域文化を振興する」ということですが、人生100年時代で生涯学習の重要性はますます高まっており、市民の皆様が生涯を通して学ぶことは、豊かな人生を送るうえで重要だと思います。

「科学技術体験センター事業の充実」につきましては、教育委員会会議でも申し上げたのですが、ミラクルの特別展に参りまして、すばらしいと感じました。ぜひこれからもよい企画展を実施していただき、たくさんの方々の皆様に訪れてほしいと思っております。

また、「芸術文化に接する機会の充実」ですが、スポーツにおいても、するスポーツ、また見るスポーツによって生き生きと人生を送ることができるように、芸術においても、創造したり観賞したりすることで、感動によって人生が豊かになると思います。演奏会なども人数制限をしながらも少しずつ再開されており、渴いた心が潤ったなどの感想もいただいたところです。芸術は自分の内側に問うこと、多様性を認め合うこと、自分のオリジナリティを大事にすること、地域の人々とのつながり、交流など、いろいろな力があると思います。芸術文化を大切にすると雰囲気や醸成し、観賞する機会を提供することは大変大事だと思っております。

以上です。

○司会 ありがとうございます。

野口委員、いかがでしょうか。

○野口委員 ①、②、③につきましては、教育委員会としても計画的に進めてきた経緯もございますので、充実してきているなと思っています。

山口委員からもありましたとおり、文化財の保存活用の中での郷土資料館については、私も全く同感でございます。一昨日の東武よみうり新聞にも大道遺跡の記事が大きく載っておりましたが、こういった形で遺跡発掘もされているということで、例えば模型等でみんなが見られるとか、そんな施設があれば良いと思っています。見田方遺跡もありますし、市内にも多くの文化財が残っていますが、郷土資料館があると、市民意識の向上等に寄与するのではないかと思います。

以上です。

○司会 ありがとうございます。

それでは、吉田教育長、いかがでしょうか。

○吉田教育長 コロナ禍ではございますが、図書館では電子書籍、ミラクルでは、先ほどありましたように、SDGsやプログラミング等に取り組んでいます。能楽堂では能楽教室のやり方を工夫して実施しています。それから、公民館では生涯学習、生涯スポーツに関わる特色ある各種事業、教室等の実施、それからスポーツ施設でもサービスの向上に向けて取り組んでおります。

以上です。

○司会 ありがとうございます。

それでは、基本目標2については以上とさせていただきます。次に「基本目標3 生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しめる環境をつくる」につきまして、同じく教育総務部から説明をいたします。

○鈴木部長 それでは、「基本目標3 生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しめる環境をつくる」でございます。こちらは生涯スポーツの分野における取組となっております。

「施策の方向2 スポーツ・レクリエーション活動を支援する環境の充実を図る」でございますが、「① スポーツ・レクリエーション施設の充実」の「体育施設の充実」では、総合体育館をはじめとする各体育施設の適切な管理、運営を行うとともに、各施設の照明のLED化や、しらこぼと陸上競技場第3種公認に向けた改修などを進めてまいります。

令和4年度の重点的な取組の内容につきましては、以上でございます。

○司会 ただいま基本目標3についてご説明をいただきました。

まず、福田市長、いかがでしょうか。

○福田市長 「① スポーツ・レクリエーション施設の充実」について、同じ時代に建てられている施設が多く、更新時期が近いということで、計画的に行わなければなりません。この辺はしっかり進めて、皆さんが生涯スポーツを楽しめる環境というのは、徹底して守っていきたいと思っています。

あとは、体育館がこんな多い市は、なかなか珍しいと思っているのですが、どうなのでしょう。総合体育館、第1、第2、北、南、西と、かなり多いと思います。もっと越谷の生涯スポーツというものをアピールしてもいいと思うぐらい、いい施設がそろっていると思います。

さらに、プロバスケットボールチームも越谷にできていますので、そういったものも含めて、しっかりとやっていきたいと思っています。

以上です。

○司会 ただいま福田市長からは、スポーツをする環境づくりのために、体育館をはじめとしたスポーツ施設の改修には、十分取り組んでいきたいという話がありました。その中で、体育館等の施設が多いほうではないかということですが、何か事務局でデータはお持ちでしょうか。

○八木下課長 スポーツ振興課です。

本市の体育施設については、ご指摘のとおり、他市と比較して多いと思います。

総合体育館については、まんまるよやくというシステムで、5市1町の相互利用の対象施設として活用を図っており、他の北、南、西体育館等については、地域の市民スポーツ団体の方を中心に継続的な活動ができるよう、地域体育館として、役割的にすみ分けをしながら運用しております。

以上です。

○司会 ありがとうございます。他市と比較して多いほうだということでございます。

先ほど、市長からは、体育施設も多く、プロバスケットボールチームもあるので、積極的にアピールをしていきたいというお話がありました。

教育委員会の皆さんから、ご意見をお願いしたいと思うのですが、渡辺委員、いかがでしょうか。

○渡辺委員 越谷市では、体育施設が充実しており、修繕等も行っていただいているということで、本当にありがたいと思います。

基本目標3は「生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しめる環境をつくる」ということなのですが、これを達成するために、ライフスタイルに合わせたスポーツ・レクリエーションの活動の機会ということが大切になってくると思います。現在、例えば、市民体育祭の一部見直しや、勤労者向けに参加のしやすい環境整備を重点事業として上げています。たしか、他の審議会で生活習慣アンケートを取っており、勤労世代の参加率が少ないというようなデータがあったように記憶しているのですが、このようなデータを市で共有し、新たな方向先を見つけるというようなことをしていくと、もっとよくなるのではないかと考えております。

それと、もう一点、スポーツ・レクリエーションに係る人材の育成について、教育委員会でも話題となっているのが、なかなかスポーツリーダーバンクの活用がうまくいっていないということです。登録者はいるのですが、例えば、部活動の指導員として、どなたかに行ってもらえないかとなると、なかなかそういう人材が見つからず、難しい部分があります。具体的にどうしていくかというのは、これから考えなければいけないことですが、うまくつなげて学校へ派遣することができれば、学校の働き方改革にもなると思いますので、ぜひ力を入れていただきたいと思います。

以上です。

○司会 ありがとうございます。

ほかにご意見等はございますか。堀川委員、いかがでしょうか。

○堀川委員 今、市長から、生涯スポーツができる環境を維持していくという力強いお言葉をいただきまして、ありがとうございます。私も定期的に総合体育館、武道場を使わせていただいておりますので、今後も仲間と安心して使用させていただきたいと思いません。小まめに施設の手入れもされており、市民の皆様も非常に楽しく生き生きと活動しているように思います。今後ともよろしく願いいたします。

また、今、渡辺委員からもありましたが、勤労者向けのスポーツ教室ということで、今、内容の見直しをされているということですが、各種スポーツの動画配信拡充といったことも併せて検討されているかと思えます。コロナ禍でおうち時間も増え、動画を見ながらヨガやストレッチ、ダンス、筋トレなどをする人が増えてきています。自分のライフスタイルに合った形で続けられるので、これからも需要は増えていくのではないかと思いますし、勤労者の方たちは、なかなか講座へ行く時間はないですが、こういったものを利用して、健康増進に努めていただければなと思います。また、ニュースポーツやパラスポーツの紹介なども動画で見られると、興味を持ち、やってみようという人が増えるのかなと思いました。

また、散歩やランニングする人も増えてきたように思います。私も、元荒川沿いの自然を楽しみながら散歩やランニングをしていて、体調がよくなったと感じますし、認知症の改善などにも役立つと聞いております。市民の皆様が、これからも積極的に運動ができるよう、生涯スポーツ講座では、いつでも、どこでも、誰でも、ということで、講師付きの講座や、午後はフリーの時間を設けることなどをおこなっているようですので、市民の皆さんが使いやすい環境にあると思っています。ランニングコースや散歩コースの整備などもされておりまして、そういったことでも増えているのかなと思います。夜間にランニングする人も増えてきておりますので、せめてランニング用のライト、セーフティーライトみたいなものをつけるような呼びかけなどもしてほしいかなと個人的に思っております。

○司会 ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。渡辺委員、お願いします。

○渡辺委員 補足になりますが、市民の生きがいづくり、健康寿命の延伸を考えると、やはり高齢者を忘れてはいけないと思います。生涯スポーツという観点から言いますと、子供は学校という組織に属しておりますし、勤労世代は会社に所属する方が多いですが、どうしても高齢者は、自分が所属するグループがないと思います。高齢者は健康もそうなのですが、コミュニケーションの場として、体育施設等を使われるといいかなと思いますし、こういう施設を上手に使うってプログラムを考えていくと、もっとよくなるのではないかと思いました。

以上でございます。

○司会 ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。野口委員、お願いします。

○野口委員 皆さんの意見をお伺いさせていただいて、大変私も参考になりました。

1点、市民体育祭について、2年間中止になっているかと思いますが、心配しているのは、各自治会の参加率が非常に下がってきている点です。あの行事は非常に有意義だと思っていますので、ぜひ工夫しながらやっていかななくてはいけないなと思っています。といいますのは、自治会活動の一つの大きな柱になっているからです。選手を選ぶとか、役員の人が近所を回って参加をお願いしたりしており、なかなか参加希望の人はいないのですが、自治会の活動を活性化する一つの大きな要素になっているものですから、ぜひ工夫しながら続けていかななくてはいけないなと思っていますところでは。

以上です。

○司会 ありがとうございます。

吉田教育長、お願いします。

○吉田教育長 市長からも、委員の皆さまからも貴重なご意見をいただきました。野口委員が言われたように、市民との協働によりスポーツ・レクリエーションを振興してきた本市の経緯がありますので、これを踏まえていかなければいけないと思っています。

その中で、施設の計画的な整備、さらには健康寿命の延伸につながるような取組、そしてPRを兼ねたイベントの開催、見るスポーツ、支えるスポーツ、するスポーツ、これらのさらなる発展ということを総合的にやっていかななくてはいけないと改めて感じました。

以上です。

○司会 ありがとうございます。

これは、事務局というよりも、総合政策部としてのお話で恐縮なのですが、先ほど渡辺委員から、ライフスタイルに合わせたスポーツ、特に高齢者を忘れてはいけないというお話があったかと思います。確かに生涯スポーツと、健康寿命とは密接に関わる問題でありまして、私どもも極めて重要なことと認識をしております。

先般の国勢調査では、全国では5人に1人の高齢者が単身であるという結果が出ています。越谷はまだ若いので、そこまでいっていないのですが、早晚そういうときが訪れるだろうと思っています。これについては、フレイル予防といった観点からも、いかにして講座等へ参加をしていただくか、市長部局と教育委員会で十分連携を図り、取り組んでいかなければいけないと思っています。

ほかに皆さんいかがでございましょうか。よろしいですか。

〔発言する人なし〕

○司会 それでは、基本目標3については以上でございます。

本日は協議事項が1点でございますので、協議事項につきましては以上とさせていただきます。

皆さんから、本日の会議全体を通しまして何かございますか。

吉田教育長、いかがでしょうか。

○吉田教育長 先ほど申し上げましたけれども、大変いい場になったかなと思います。今後の教育行政の方向性をいただいたということで、大変参考になりました。

○司会 福田市長、いかがですか。

○福田市長 私は初めての総合教育会議でしたが、非常にいい会議だなと思いました。

その上で、やはり、現状がこれで正しいのだろうかというのは常に、教育だけではなくいつも考えています。今日は、自分と似た考えも違う考えもあり、そうした意見を聞

く機会をいただけたのでよかったなと思います。

○司会 ありがとうございます。

最後に、事務連絡で恐縮ですが、今後の予定について、私から2点ほどご説明をさせていただきます。

まず、本日の議事録ですが、市のホームページへの掲載により公表をさせていただきます。

次に、次回の総合教育会議の日程ですが、来年2月9日の水曜日、午後2時から開催する予定です。詳細につきましては、決まり次第ご連絡をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、以上をもちまして本日の総合教育会議を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。